

【第2期中期目標期間評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
III	概ね中期目標どおり実施している	目標の達成状況が90%超100%以下
II	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
I	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

公立大学法人岐阜県立看護大学

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価	
		自己評価理由、課題及びその改善策		
③	<p>ア 学修支援 学生の支援ニーズを個別的・集団的に把握し、支援ニーズにきめ細やかに対応する体制の充実を図る。</p> <p>学生の自主学修に適した図書館及び実習室等の学内環境の整備を行う。</p> <p>看護学研究科では、社会人学生の就学との有効な両立に向けて学修環境を整備する。</p>	<p>学生の学修について、学生相談教員による個別指導や面接等により課題と支援ニーズを把握し、即応的な対応を行った。教授会の下に設置された学生相談教員部会は、学生生活委員会と協力して、毎年一・二年次生全員に対して個別面談を実施し、学修支援が必要な学生には教務委員会及び各看護学領域と協議して、継続的に支援する体制を確立した。</p> <p>平成28年度及び令和元年度に実施した学生生活実態調査(3年に1回実施)により、学生便覧やシラバスの電子化等学生の支援ニーズを集団的に把握し、教務委員会及び学生生活委員会において対応を検討し実施した。</p> <p>図書・雑誌・視聴覚資料等の整備の基本方針を確認し、学生の自主学修に適した学内環境の整備を行った。図書約90,400冊(看護学の専門書約19,300冊)、雑誌約230誌を整備するとともに、図書館に来館しなくても学生のデバイスからアクセスできる電子リソース(電子ブック約310点、電子ジャーナル約2,200種、動画配信約210タイトル、有料データベース3種)を整備した。</p> <p>看護学実習室の備品更新計画を策定し、毎年度備品の劣化状態等を確認して更新計画を見直し、計画的且つ的確に購入を進め、学生の自主学修に適した学内環境を整備した。</p> <p>看護学研究科では、学生との懇談会(集団面接)を定期的に行い、社会人学生のニーズを把握し、就業と両立できる対策を実施した。また、遠隔地の学生の教育環境整備として、平成30年度から遠隔教育システムの整備を進め、令和元年度から学生の状況</p>	IV	<p>看護学研究科における社会人学生のニーズを把握し、就業との両立が可能となる対策を講じていることは評価できる。また、遠隔地の学生に対する配慮も評価できる。</p> <p>保健師の国家試験合格率については、改善に向けた対策を講じられたい。</p>

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価																									
		自己評価理由、課題及びその改善策																												
	<p>イ 学生生活支援 学生生活が豊かなものとなるように、自主的な課外活動等を支援する。</p> <p>各種奨学金等の制度に関する学生の経済面の支援体制を充実させる。</p>	<p>に応じて遠隔授業を開始した。さらに、新型コロナウイルス感染症対策と相まって遠隔教育用の機器整備がさらに充実したことで、遠隔授業や研究指導が簡便に実施できるようになり、遠隔地から通学する学生や勤務の関係で研究指導の時間の捻出が難しかった学生の負担が軽減された。遠隔授業を行った学生の満足度は高く、職場に在籍しながら学ぶ学生にとっては、時間的な負担を軽減する上でも有効であるため、学生のニーズと学修効果を把握しながら遠隔授業を適切に実施していく。</p> <p>学生の自主的な課外活動等を支援した。 学生生活委員会及び学生相談教員部会が中心となり、学務課と連携して、学生自治会活動、サークル活動、岐看祭、クリスマスコンサート及び地域活動を支援した。課外活動の全学的な活性化を図るため、学年を超えた学生間の交流の機会を作るとともに、学生自治会との話し合いを通じて教員に相談しやすい関係の構築やサークル顧問会議を開催して教員側の支援体制の組織化を図った。</p> <p>各種奨学金等の制度に関する情報提供や相談受付等、学生の経済面の支援体制を充実させた。 本学独自の経済面の支援制度である授業料減免制度と給付型奨学金及び日本学生支援機構の奨学金等については、保護者同席のガイダンス及び学年別学生ガイダンスで周知し活用を図った。また、令和2年度から開始された国による高等教育の修学支援新制度についても学生に広く周知し希望者に説明会を開催し申請を受け付けた。</p> <p>* 授業料減免制度による支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>セメスター</th> <th>減免の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>前期</td> <td>全額6人、半額1人</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>全額6人、半額1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>前期</td> <td>全額5人、半額0人</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>全額5人、半額0人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>前期</td> <td>全額5人、半額1人</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>全額6人、半額1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>前期</td> <td>全額2人、半額4人</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>全額2人、半額4人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>前期</td> <td>全額0人、半額0人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	セメスター	減免の人数	H28	前期	全額6人、半額1人	後期	全額6人、半額1人	H29	前期	全額5人、半額0人	後期	全額5人、半額0人	H30	前期	全額5人、半額1人	後期	全額6人、半額1人	R1	前期	全額2人、半額4人	後期	全額2人、半額4人	R2	前期	全額0人、半額0人		
年度	セメスター	減免の人数																												
H28	前期	全額6人、半額1人																												
	後期	全額6人、半額1人																												
H29	前期	全額5人、半額0人																												
	後期	全額5人、半額0人																												
H30	前期	全額5人、半額1人																												
	後期	全額6人、半額1人																												
R1	前期	全額2人、半額4人																												
	後期	全額2人、半額4人																												
R2	前期	全額0人、半額0人																												

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項						
		自己評価理由、課題及びその改善策						
			後期	全額0人、半額0人				
		R3	前期	全額0人、半額0人				
			後期	全額0人、半額0人				
		* 奨学金貸与者数						
		年度	種類	新規	継続	合計	総計	
		H28	日本学生 支援機構	第一種	11	44	55	100人
			第二種	12	30	42		
			岐阜県選奨生		0	3	3	
		H29	日本学生 支援機構	第一種	8	39	47	96人
			第二種	15	32	47		
			岐阜県選奨生		0	2	2	
		H30	日本学生 支援機構	給付型	2	0	2	87人
				第一種	12	29	41	
				第二種	8	34	42	
			岐阜県選奨生		0	2	2	
		R1	日本学生 支援機構	給付型	1	2	3	75人
				第一種	9	29	38	
				第二種	8	26	34	
			岐阜県選奨生		0	0	0	
		R2	日本学生 支援機構	給付型	22	3	22	113人
				第一種	19	28	48	
				第二種	20	23	41	
			岐阜県選奨生		2	0	2	
		R3	日本学生 支援機構	給付型	15	17	32	139人
				第一種	19	39	58	
				第二種	17	30	47	
			岐阜県選奨生		1	1	2	
	学内外での生活における安全管理指導を実施し、学生各自の防犯対策を確実に導く。	<p>学生生活における安全管理指導を実施し、学生の防犯・安全対策の意識向上を図った。</p> <p>毎年一年次生を対象として防犯講習会、交通安全セミナー、若年消費者被害未然防止セミナー及び薬物乱用セミナー等の各セミナーを開催するとともに学生生活委員会が作成した「学生生活安全ガイド」を用いて各学年ガイダンスで安全な学生生活を送るための自己管理能力の向上を図った。また、入学時に貸与している防犯ブザーは卒業時に返還不要とし、活用を促した。</p>						

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証														
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価															
		自己評価理由、課題及びその改善策																
	<p>学生の健康増進・予防に向けて健康に関する自己管理意識を向上させ、健康管理体制を整える。</p> <p>保健師、校医による学生への助言・指導体制、臨床心理士によるカウンセリングの実施、精神科顧問医による学生支援の助言体制を継続し充実を図る。</p> <p>ウ 就職支援 学生が主体的に進路を選択できるような環境を整える。</p>	<p>学校保健安全法に基づく定期健康診断による健康管理・保健指導を毎年実施した。</p> <p>4月に定期健康診断を実施し、その結果について学校医の助言に基づき保健師が全員に個別面談し結果を返却し、学生の主体的な健康管理を促進するために健康相談や生活指導を実施する体制を継続した。要精検・要医療者には受診勧奨を行い、若年女性特有の健康問題をもつ等の要観察者には健康相談や生活指導を実施した。また、毎年度健康管理年報を作成し、全教職員に配布して情報共有を図った。</p> <p>学生への助言・指導等の体制及び学生支援の助言体制を継続充実させた。</p> <p>学生の心身の問題に適切に対応するため、問題に応じて内科系非常勤医師(校医)及び精神科系非常勤医師(精神科顧問医)から定期的に助言を受けるとともに緊急時の電話相談により学生・保護者に対応した。また、心の問題については、カウンセリング専用室において、非常勤カウンセラーによる週1回のカウンセリングを継続実施した。</p> <p>* 非常勤カウンセラーによるカウンセリングの利用件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>49</td> <td>42</td> <td>54</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生が主体的に進路を選択できるよう、学年進行に合わせた就職支援体制の充実を図った。</p> <p>県内医療施設の参加を得て、看護部長や卒業者等による全体説明会と個別相談会を開催したところ、看護職者としての自身の将来像を主体的に描き、就職について具体的に考えられるようになった。</p> <p>在学生と看護師、保健師、助産師、養護教諭として働いている卒業者との交流会を毎年開催し、卒業者から進路選択や看護実践活動の実際を聴くことにより、学生が自身の将来を描き進路を考えられるようになった。</p> <p>就職ガイダンスは、学生の進路決定のプロセスの動向を見ながら調整を図りつつ、一年次から四年次までの計画を立てて実施している。</p> <p>※県内医療施設による全体説明会参加状況(対象者：二・三年次</p>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	件数	17	28	49	42	54	55		
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3												
件数	17	28	49	42	54	55												

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価					自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																																							
		業務実績、特筆すべき事項																																																																																																																																																													
		自己評価理由、課題及びその改善策																																																																																																																																																													
		<p>生)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>94</td> <td>85</td> <td>123</td> <td>127</td> <td>163～ 193</td> <td>160～ 190</td> </tr> <tr> <td>医療機関等</td> <td>18</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2、R3 は新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン開催のため、Teams のログイン数</p> <p>保健師・助産師・看護師・養護教諭など専門分野に応じた進路・就職相談を実施した。</p> <p>教授会の下に看護師・保健師・助産師・養護教諭で構成する就職進路対策委員会を設置し、専門分野に応じた進路・就職相談ができる体制を継続した。また、四年次の卒業研究指導教員が個別に相談にのり、きめ細やかに支援することを継続した。</p> <p>第2期中期目標期間中に看護職者として県内に就職した卒業者は269名(58.4%)であった。なお、平成12年に開学し、平成15年度の第1期卒業者以降、816名を県内に輩出し、地域貢献に繋がった。</p> <p>* 就職状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">出身</th> <th colspan="3">就職先(人数)</th> <th colspan="2">就職先(%)</th> </tr> <tr> <th>県内</th> <th>県外</th> <th>合計</th> <th>県内</th> <th>県外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H28</td> <td>県内</td> <td>48</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>48</td> <td>66.7%</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>31</td> <td>5</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>16.1%</td> <td>83.9%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>79</td> <td>37</td> <td>42</td> <td>79</td> <td>46.8%</td> <td>53.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H29</td> <td>県内</td> <td>51</td> <td>39</td> <td>12</td> <td>51</td> <td>76.5%</td> <td>23.5%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>28</td> <td>4</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>14.3%</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>79</td> <td>43</td> <td>36</td> <td>79</td> <td>54.4%</td> <td>45.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H30</td> <td>県内</td> <td>54</td> <td>39</td> <td>15</td> <td>54</td> <td>72.2%</td> <td>27.8%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>16.7%</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>78</td> <td>55.1%</td> <td>44.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R1</td> <td>県内</td> <td>46</td> <td>35</td> <td>11</td> <td>46</td> <td>76.1%</td> <td>23.9%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>23</td> <td>3</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>13.0%</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>38</td> <td>31</td> <td>69</td> <td>55.1%</td> <td>44.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R2</td> <td>県内</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>3</td> <td>53</td> <td>94.3%</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>25</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>36.0%</td> <td>64.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78</td> <td>59</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>75.6%</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>県内</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>8</td> <td>53</td> <td>84.9%</td> <td>15.1%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	参加者数	94	85	123	127	163～ 193	160～ 190	医療機関等	18	15	17	16	16	23		出身	就職先(人数)			就職先(%)		県内	県外	合計	県内	県外	H28	県内	48	32	16	48	66.7%	33.3%	県外	31	5	26	31	16.1%	83.9%	計	79	37	42	79	46.8%	53.2%	H29	県内	51	39	12	51	76.5%	23.5%	県外	28	4	24	28	14.3%	85.7%	計	79	43	36	79	54.4%	45.6%	H30	県内	54	39	15	54	72.2%	27.8%	県外	24	4	20	24	16.7%	83.3%	計	78	43	35	78	55.1%	44.9%	R1	県内	46	35	11	46	76.1%	23.9%	県外	23	3	20	23	13.0%	87.0%	計	69	38	31	69	55.1%	44.9%	R2	県内	53	50	3	53	94.3%	5.7%	県外	25	9	16	25	36.0%	64.0%	計	78	59	19	78	75.6%	24.4%	R3	県内	53	45	8	53	84.9%	15.1%		
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																																																																																																																									
参加者数	94	85	123	127	163～ 193	160～ 190																																																																																																																																																									
医療機関等	18	15	17	16	16	23																																																																																																																																																									
	出身	就職先(人数)			就職先(%)																																																																																																																																																										
		県内	県外	合計	県内	県外																																																																																																																																																									
H28	県内	48	32	16	48	66.7%	33.3%																																																																																																																																																								
	県外	31	5	26	31	16.1%	83.9%																																																																																																																																																								
	計	79	37	42	79	46.8%	53.2%																																																																																																																																																								
H29	県内	51	39	12	51	76.5%	23.5%																																																																																																																																																								
	県外	28	4	24	28	14.3%	85.7%																																																																																																																																																								
	計	79	43	36	79	54.4%	45.6%																																																																																																																																																								
H30	県内	54	39	15	54	72.2%	27.8%																																																																																																																																																								
	県外	24	4	20	24	16.7%	83.3%																																																																																																																																																								
	計	78	43	35	78	55.1%	44.9%																																																																																																																																																								
R1	県内	46	35	11	46	76.1%	23.9%																																																																																																																																																								
	県外	23	3	20	23	13.0%	87.0%																																																																																																																																																								
	計	69	38	31	69	55.1%	44.9%																																																																																																																																																								
R2	県内	53	50	3	53	94.3%	5.7%																																																																																																																																																								
	県外	25	9	16	25	36.0%	64.0%																																																																																																																																																								
	計	78	59	19	78	75.6%	24.4%																																																																																																																																																								
R3	県内	53	45	8	53	84.9%	15.1%																																																																																																																																																								

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価						自己 評価	評価委員会の検証																																			
		業務実績、特筆すべき事項																																										
		自己評価理由、課題及びその改善策																																										
		県外	25	4	21	25	16.0%	84.0%																																				
		計	78	49	29	78	62.8%	37.2%																																				
		<p>令和元年度には平成30年度の保健師国家試験不合格者を対象として、令和2年度には令和元年度の看護師国家試験不合格者を対象として、受験前の学修状況や当日の受験状況を確認し、次年度の受験を支援するための面談(対面又は電話)を実施した。面談で把握した学生の現状は教員間で共有し、学生指導を強化した。</p>																																										
		<p>* 国家試験合格率(保健師)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>80</td> <td>76</td> <td>81</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>78</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>74</td> <td>80</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>合格率</td> <td>98.7%</td> <td>89.9%</td> <td>87.5%</td> <td>97.4%</td> <td>98.8%</td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>全国合格率</td> <td>94.5%</td> <td>85.6%</td> <td>88.1%</td> <td>96.3%</td> <td>97.4%</td> <td>93.0%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	受験者数	79	79	80	76	81	80	合格者数	78	71	70	74	80	75	合格率	98.7%	89.9%	87.5%	97.4%	98.8%	93.8%	全国合格率	94.5%	85.6%	88.1%	96.3%	97.4%	93.0%		
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																						
受験者数	79	79	80	76	81	80																																						
合格者数	78	71	70	74	80	75																																						
合格率	98.7%	89.9%	87.5%	97.4%	98.8%	93.8%																																						
全国合格率	94.5%	85.6%	88.1%	96.3%	97.4%	93.0%																																						
		<p>* 国家試験合格率(看護師)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>80</td> <td>76</td> <td>81</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>71</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>合格率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>98.8%</td> <td>93.4%</td> <td>98.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>全国合格率</td> <td>94.3%</td> <td>96.3%</td> <td>94.7%</td> <td>94.7%</td> <td>95.4%</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	受験者数	79	79	80	76	81	80	合格者数	79	79	79	71	80	80	合格率	100.0%	100.0%	98.8%	93.4%	98.8%	100.0%	全国合格率	94.3%	96.3%	94.7%	94.7%	95.4%	96.5%		
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																						
受験者数	79	79	80	76	81	80																																						
合格者数	79	79	79	71	80	80																																						
合格率	100.0%	100.0%	98.8%	93.4%	98.8%	100.0%																																						
全国合格率	94.3%	96.3%	94.7%	94.7%	95.4%	96.5%																																						
		<p>* 国家試験合格率(助産師)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	受験者数	4	6	6	6	6	5																							
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																						
受験者数	4	6	6	6	6	5																																						

項目番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価							自己評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項								
		自己評価理由、課題及びその改善策								
		合格者数	4	6	6	6	6	5		
		合格率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		全国合格率	93.2%	99.4%	99.9%	99.5%	99.7%	99.7%		
⑤	<p>ア 看護学教育に関する研究は、全教員が各自の専門分野に応じて実施し、これに基づき看護学科及び看護学研究科の教育の質の向上を図る。</p>	<p>教員の専門性を深める研究及び教育方法の開発に関する研究を全教員が各自の専門領域に応じて主体的に実施した。教員は、自己の専門性を深めるために関連学会に所属すると同時に、科学研究費補助金等を活用し研究活動を続けた(下記一覧のとおり)。</p> <p>教育方法に関する研究として、地域基礎看護学領域では「学位授与方針に基づく段階的達成目標」「外来演習における学生の学び」、機能看護学領域では「機能看護学の発展及び大学教員としてのあり方」、育成期看護学領域では「学生が主体的に授業を受けるために「講義型授業の工夫と改善」、及び成熟期看護学領域では「成熟期看護学領域の授業内容と教育方法の共有と効果的な教授方法の検討」等について継続的な取り組みを行った。</p> <p>* 平成28年度～令和3年度における科学研究費助成(代表者)研究課題一覧</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>研究代表者研究課題名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基盤研究(C) (17 課題 : 研究期間 5 年 間 1 課題、4 年間 9 課題、3 年間 7 課題)</td> <td> <p>[平成 26 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神保健医療福祉サービス資源が限られた地域における地域基盤型精神看護モデルの開発 (H26-29) <p>[平成 27 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護実践能力とキャリア開発を担う臨床教育指導者が用いる看護師育成プログラムの構築 (H27-30) 地域包括ケアにおけるマネジメント能力を高める看護専門職の生涯学習支援モデルの開発 (H27-30) <p>[平成 28 年度～]</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業名	研究代表者研究課題名	基盤研究(C) (17 課題 : 研究期間 5 年 間 1 課題、4 年間 9 課題、3 年間 7 課題)	<p>[平成 26 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神保健医療福祉サービス資源が限られた地域における地域基盤型精神看護モデルの開発 (H26-29) <p>[平成 27 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護実践能力とキャリア開発を担う臨床教育指導者が用いる看護師育成プログラムの構築 (H27-30) 地域包括ケアにおけるマネジメント能力を高める看護専門職の生涯学習支援モデルの開発 (H27-30) <p>[平成 28 年度～]</p>	III	<p>「基盤研究 (C)」と比較し、「挑戦的萌芽研究」や「若手研究」の採択数がやや少ないため、斬新なアイデアを捻出するなど対策を講じ、より一層の獲得に尽力されたい。また、「科学研究費補助金申請支援チーム」を活用して、若手教員により奮起していただきたい。</p>	
事業名	研究代表者研究課題名									
基盤研究(C) (17 課題 : 研究期間 5 年 間 1 課題、4 年間 9 課題、3 年間 7 課題)	<p>[平成 26 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 精神保健医療福祉サービス資源が限られた地域における地域基盤型精神看護モデルの開発 (H26-29) <p>[平成 27 年度～]</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護実践能力とキャリア開発を担う臨床教育指導者が用いる看護師育成プログラムの構築 (H27-30) 地域包括ケアにおけるマネジメント能力を高める看護専門職の生涯学習支援モデルの開発 (H27-30) <p>[平成 28 年度～]</p>									

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価
		自己評価理由、課題及びその改善策			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングプアの住宅確保におけるリスクに関する実証的研究(H28-30) ・慢性の病いにおける他者への「言いづらさ」を基盤とした看護理論の創成とその活用(H28-31) ・利用者ニーズを基盤とした退院支援の質向上に向けた人材育成システムの構築(H28-R2) ・看護者対対象者の2者関係に基づく地域生活集団を対象とした看護モデルの開発(H28-31) ・遺伝的交配実験における最適計画および構成法に関する研究(H28-30) <p>【平成30年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者と家族が抱える「親亡きあとの問題」に対する対話型支援コンテンツの開発(H30-R3) ・医療機関と職場の協働によるがん患者の両立支援を促進する人材育成プログラムの開発(H30-R3) <p>【令和元年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単身・中年・男性生活困窮者のタイプ別就労支援プログラム開発に関する研究(R1-R3) ・子ども虐待防止を目指した地域包括支援のための看護職の人材育成プログラムの開発(R1-R3) ・継続的な子育て支援を実現する対話と対話的子育て支援ガイドの考案(R1-R3) <p>【令和2年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慢性の病いにおける「言いづらさ」を包摂する看護理論の事例研究法に基づく実証的研究(R2-R4) <p>【令和3年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護者対対象者の2者関係に基づく地域看護実践展開モデル活用ガイドの開発(R3-R5) ・多彩な学びの機会を活用した介護老人福祉施設における看護人材育成プログラムの構 			

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項			
		自己評価理由、課題及びその改善策			
			築(R3-R6) ・地域の介護観・子育て観に即した地域共生社会実現をめざす地域看護活動モデルの開発(R3-R6)		
	挑戦的萌芽研究 (2 課題: 研究期間 3 年間 1 課題、4 年間 1 課題)	[平成 26 年度～] ・新任および中堅保健師の実践能力の発展を支援する方法の開発(H26-29) ・虐待予防のためのハイリスク妊婦への地域連携を基盤とした育児支援プログラムの開発(H26-28)			
	若手研究 (7 課題: 研究期間 4 年間 2 課題、3 年間 5 課題)	[平成 27 年度～] ・精神科における退院支援上の専門職連携強化のための看護師現任教育プログラムの開発(H27-29) ・地域包括ケアシステム構築を目指すへき地診療所看護職を起点とした協働モデルの開発(H27-29) [平成 28 年度～] ・子ども自身と家族が語る自閉症スペクトラムを巡る多様な意味: 対話という関わりの検討(H28-30) [平成 30 年度～] ・情動知能に着目したリーダーシップ行動を高める看護管理者育成プログラムの開発(H30-R2) ・高齢慢性心不全患者へのエンドオブライフケアを可能にする看護モデルの開発(H30-R2) [令和 3 年度～] ・「子どもの育ち」に着目した低出生体重児と親の相互作用を支える看護モデルの創案(R3-R6) ・人生の終末を生きる高齢者が最期まで本人主体で生きるための支援指針の実証的研究(R3-R6)			
	学術図書 (1 課題)	[令和 3 年度] ・クロニックイルネスにおける「言いづらさ」と実践領域モデル			

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価							自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項								
		自己評価理由、課題及びその改善策								
		* 科学研究費補助金の採択状況								
		年度	代表者 研究数	新規	継続	研究 経費 (直接 経費)	分 担 者 研 究 数	新規	継続	研究 経費 (直接 経費)
		H2 8	15	6	9	10,75 0千円	5	3	2	820千 円
		H2 9	13	0	13	8,300 千円	4	0	4	520千 円
		H3 0	13	4	9	7,600 千円	5	2	3	600千 円
		R1	13	3	10	7,700 千円	6	2	4	380千 円
		R2	11	1	10	5,100 千円	9	5	4	620千 円
		R3	14	6	8	10,10 0千円	17	10	7	1,640 千円
	イ 共同研究など、大学が組織的に取り組む研究を推進し、県内の看護サービスの質を向上させる研究に取り組む。	<p>大学が組織的に取り組む研究として共同研究事業、看護実践研究指導事業等を推進し、県内の看護サービスの質を向上させる研究を行った。共同研究事業は、県内看護職者と本学教員の共同体制で、第2期の平成28年度～令和3年度において94課題(累積総数483課題)実施した。県内の看護実践や看護職者にかかる地域ニーズに応じて、看護職者の人材育成、在宅療養支援の充実及び育成期における支援の充実等に関する共同研究を実施するとともに、共同研究報告と討論の会を毎年度2月(第17回～第22回)に開催し、県内の看護サービスの質の向上に繋げるため、十分な時間をかけて報告と討議を行い、内容を共有した。</p> <p>また、看護実践研究指導事業は、県内看護職者への生涯学習支援として研修会を含む取組みを、平成28年度～令和3年度で延</p>								

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証																											
		業務実績、特筆すべき事項																														
		自己評価理由、課題及びその改善策																														
		<p>べ4 1 課題(累積総数 109 課題)実施した。課題は、「看護研究活動の支援」、「退院支援の質向上」、「母子保健活動の充実」、「エンドオブライフケアの充実」、「看護管理者のマネジメント能力向上」、及び「専門看護師の実践の質の向上」等に関するものであった(下記表のとおり)。</p> <p>令和元年度には創立20周年を迎え、本学紀要第20巻特別号「岐阜県立看護大学における教育研究活動及び地域貢献活動のオリジナリティ：『岐阜モデル』の構築とその発展的継続による質の重厚性」を発刊し、「Ⅲ. 地域貢献活動におけるオリジナリティ」のなかに「看護実践の改善・改革を目指した岐阜県看護職と大学教員が取り組む『共同研究事業』の実績と成果」及び「県内看護職に研修企画を提供する岐阜県立看護大学『看護実践研究指導事業』の取り組み」として、共同研究事業と看護実践研究指導事業についてとりまとめ、本取組みを継承する基盤と将来のあり方を考える機会を強化し、令和2年度及び令和3年度の取組みに繋げた。</p> <p>* 共同研究課題数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>～H 27</th> <th>H 28</th> <th>H 29</th> <th>H 30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>総数 (延 べ)</th> <th>累積 総数 (延 べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題 数</td> <td>389</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>94</td> <td>483</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 共同研究事業の課題(令和3年度)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1 保健師の実践能力の発展過程と現任教育のあり方</td> </tr> <tr> <td>2 産業保健活動における健診機関の看護職の役割機能の検討</td> </tr> <tr> <td>3A 産科クリニックにおける妊娠期から産褥期におけるメンタルヘルスキアの質向上に向けた研究</td> </tr> <tr> <td>4 三次医療機関の産科外来における妊娠期からの支援の検討</td> </tr> <tr> <td>5 緩和ケア病棟の看護師がおこなう遺族ケアの質向上のための取り組み</td> </tr> <tr> <td>6 周産期母子医療センターの看護職が実践する小児退院支援の現状と課題</td> </tr> <tr> <td>7 地域包括ケア病棟入院患者への急性期から行う退院支援</td> </tr> </tbody> </table>		年度	～H 27	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	総数 (延 べ)	累積 総数 (延 べ)	課題 数	389	19	16	15	15	13	16	94	483	1 保健師の実践能力の発展過程と現任教育のあり方	2 産業保健活動における健診機関の看護職の役割機能の検討	3A 産科クリニックにおける妊娠期から産褥期におけるメンタルヘルスキアの質向上に向けた研究	4 三次医療機関の産科外来における妊娠期からの支援の検討	5 緩和ケア病棟の看護師がおこなう遺族ケアの質向上のための取り組み	6 周産期母子医療センターの看護職が実践する小児退院支援の現状と課題	7 地域包括ケア病棟入院患者への急性期から行う退院支援		
年度	～H 27	H 28	H 29	H 30	R1	R2	R3	総数 (延 べ)	累積 総数 (延 べ)																							
課題 数	389	19	16	15	15	13	16	94	483																							
1 保健師の実践能力の発展過程と現任教育のあり方																																
2 産業保健活動における健診機関の看護職の役割機能の検討																																
3A 産科クリニックにおける妊娠期から産褥期におけるメンタルヘルスキアの質向上に向けた研究																																
4 三次医療機関の産科外来における妊娠期からの支援の検討																																
5 緩和ケア病棟の看護師がおこなう遺族ケアの質向上のための取り組み																																
6 周産期母子医療センターの看護職が実践する小児退院支援の現状と課題																																
7 地域包括ケア病棟入院患者への急性期から行う退院支援																																

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価	
		自己評価理由、課題及びその改善策		
		<p>8 独居の高齢患者に対するアドバンス・ケア・プランニングの充実に向けた取り組み</p> <p>9 コンピテンシー・モデルを活用した看護管理者の育成に関する研究</p> <p>10 回復期リハビリテーション病棟における患者と家族の退院後の生活ニーズを基盤とした看護の検討</p> <p>11 心臓カテーテル検査をうける就学前の子どもへのプレパレーションを用いた支援の充実</p> <p>12 介護医療院におけるエンド・オブ・ライフケアの充実に向けた取り組み</p> <p>13 看護実践の充実・改善につながる看護研究活動に向けた支援体制の構築と人材育成</p> <p>14 腹膜透析療法を受けている患者の療養生活を支える看護の充実</p> <p>15 A 病院における現任教育体制の再構築のための取り組み</p> <p>16 A 病院看護師の倫理的課題に基づく人材育成の組織的取り組み</p> <p>* 看護実践研究指導事業(令和3年度)</p> <p>1 利用者ニーズを基盤とした入退院支援の質向上に向けた看護職者への教育支援</p> <p>2 地域包括ケアを推進するマネジメント能力向上のための研修</p> <p>3 専門看護師の看護実践の質向上を目指す研修会</p> <p>4 養護教諭のスキルアップと養護教諭像の醸成を目指した学びの会</p> <p>5 地域の実態に即した子育て支援の充実に向けた保健師の役割を考える研修会</p> <p>6 看護実践研究学会への研究支援</p>		
⑥	ア 教員は、所属学会への研究報告及び当該学会誌への投稿の活発化を図り、看護実践研究をはじめとした、本学の研究成果の公表に取り組む。	<p>教員は、所属学会への研究報告及び学術誌への投稿の活発化を図り、外部評価を受けるとともに、法人は研究成果を広く公開できる機会をホームページ及び岐阜県立看護大学リポジトリ(※)等により提供した。</p> <p>岐阜県立看護大学紀要(平成28年度～令和3年度の紀要：7冊、創立20周年記念特別号を含む)、共同研究事業報告書(平成28年度～令和3年度の報告書：6冊)及び看護実践研究指導事</p>	III	学術研究の意義を鑑み、岐阜県立看護大学紀要に限らず他の研究者により引用される可能性が高い学会誌等への投稿を増加されたい。

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証																																																					
		業務実績、特筆すべき事項																																																										
		自己評価理由、課題及びその改善策																																																										
		<p>業報告書(平成28年度～令和3年度の報告書: 6冊)はPDF化し、ホームページ及び岐阜県立看護大学リポジトリで公開するとともに、紀要及び各種報告書を関係機関に送付し、研究内容等に関する情報提供を行った。</p> <p>*紀要・学術誌における論文掲載及び学会学術集会における発表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>紀要に おける 掲載</th> <th colspan="2">学会誌におけ る掲載</th> <th colspan="2">学会学術集会にお ける発表</th> </tr> <tr> <th>論文数</th> <th>論文数</th> <th>うち 欧文 掲載</th> <th>発表数</th> <th>うち欧 文発表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 28</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>28</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H 29</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>54</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H 30</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>15</td> <td>35</td> <td>1</td> <td>43</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78</td> <td>131</td> <td>11</td> <td>215</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>				年度	紀要に おける 掲載	学会誌におけ る掲載		学会学術集会にお ける発表		論文数	論文数	うち 欧文 掲載	発表数	うち欧 文発表	H 28	11	10	3	28	7	H 29	10	13	3	54	9	H 30	10	18	2	50	7	R1	15	35	1	43	5	R2	19	30	2	16	0	R3	13	25	0	24	0	計	78	131	11	215	28		
年度	紀要に おける 掲載	学会誌におけ る掲載		学会学術集会にお ける発表																																																								
	論文数	論文数	うち 欧文 掲載	発表数	うち欧 文発表																																																							
H 28	11	10	3	28	7																																																							
H 29	10	13	3	54	9																																																							
H 30	10	18	2	50	7																																																							
R1	15	35	1	43	5																																																							
R2	19	30	2	16	0																																																							
R3	13	25	0	24	0																																																							
計	78	131	11	215	28																																																							
	<p>イ 文部科学省科学研究費補助金等への申請内容の充実に向けた対策を行う。</p>	<p>外部研究資金への応募の支援として、平成28年度～令和元年度はFD委員会が科研費等申請計画書2～3事例を基にグループ討議を8～10名程度の人数限定にて企画し、9月に開催した。各年度、事前参加申請者20～30名が討議に参加した。また、令和2年度及び令和3年度は、科学研究費補助金申請支援チームを新たに組織し、希望者には申請計画書の作成プロセスにおいて、複数回助言する機会を設けた。</p> <p>科学研究費助成事業(平成28年度～令和3年度)については、基盤研究C、挑戦的萌芽研究、若手研究のそれぞれの研究代表者として27課題(基盤研究C17課題、挑戦的萌芽研究2課題、若手研究7課題、学術図書1課題)に助成を受け、研究を継続した。</p>																																																										
	<p>ウ 共同研究事業の報告における同業者評価体制の充実など看護実践現場の改革を独自の手法で系統的に追究する方法を確立する。</p>	<p>研究成果は、本学紀要への論文掲載、学会誌等への論文掲載、看護系学会学術集会発表、共同研究報告書など適切な方法で公表するとともに、各種学会等において積極的に報告し、意見交流を通して外部評価を受けた。また、毎年度2月には、「共同研究報</p>																																																										

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																												
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価																													
		自己評価理由、課題及びその改善策																														
		<p>告と討論の会」を開催し、当該年度の共同研究事業の内容を報告するとともに、報告後の討論の時間を十分にとり、研究内容の意義及び看護実践のあり方について討議することで看護実践現場の改革を系統的に追究する方法を充実させた。</p>																														
⑧	<p>ア 看護学研究科への実務看護職者の修学の促進を図ると同時に、修了者等が取り組む職場での実践改革を支援する。</p>	<p>大学院看護学研究科博士前期課程は、本学が行う県内看護職者の生涯学習支援の中核であることから、県内看護職者が職場に在籍しながら就学できる3年間の長期在学コースとして実施を継続している。県内看護職者は大卒看護職者と高等専門学校卒看護職者等多様な教育背景の看護職者で構成されていることから、大学院出願資格審査体制を整え、必要に応じて資格審査を受審できることとし、毎年度実施した。入学者の9割以上が県内看護職者であり、3年間の学業を経て、毎年10人前後が修士の学位を取得して修了し、県内の保健・医療・福祉施設に戻り、看護実践の改善・改革に携わっている。</p> <p>平成28年度～令和3年度の6年間で、66人の大学院修了者(修士又は博士の学位取得者)を岐阜県内に輩出した(大学院開設後188人)。そのうち、専門看護師コースの修了者10人は修了後の看護実績を重ねて認定試験に合格し、これまでに21人が専門看護師(慢性看護8人、小児看護3人、がん看護10人)の資格を取得した。大学院修了者の県内輩出及び専門看護師の堅実な増加により、岐阜県の看護のリーダーの育成に繋げることができた。</p> <p>* 大学院修了者数 ()は、うち県内就業者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>～ H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博士 前期 課程</td> <td>111 (111)</td> <td>10 (10)</td> <td>9 (9)</td> <td>11 (11)</td> <td>11 (11)</td> <td>11 (4)</td> <td>6 (5)</td> <td>169 (161)</td> </tr> <tr> <td>博士 後期 課程</td> <td>11 (11)</td> <td>1 (1)</td> <td>- (-)</td> <td>3 (3)</td> <td>2 (2)</td> <td>1 (1)</td> <td>1 (1)</td> <td>19 (19)</td> </tr> </tbody> </table>		年度	～ H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計	博士 前期 課程	111 (111)	10 (10)	9 (9)	11 (11)	11 (11)	11 (4)	6 (5)	169 (161)	博士 後期 課程	11 (11)	1 (1)	- (-)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	19 (19)	III	<p>「大学院への進学」及び「専門看護師資格の取得」はいずれも重要であるため、今後もより多くの専門看護師資格取得者を輩出されたい。</p>
年度	～ H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計																								
博士 前期 課程	111 (111)	10 (10)	9 (9)	11 (11)	11 (11)	11 (4)	6 (5)	169 (161)																								
博士 後期 課程	11 (11)	1 (1)	- (-)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	19 (19)																								

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価							自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項								
		自己評価理由、課題及びその改善策								
		計	122 (122)	11 (11)	9 (9)	14 (14)	13 (13)	12 (5)	7 (6)	188 (18 0)
		* 専門看護師資格取得者数 ()は、うち県内就業者数								
		年度	～ H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
		慢性 看護 専門 看護師	4 (4)	1 (1)	- (-)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	- (-)	8 (8)
		小児 看護 専門 看護師	3 (3)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)
		がん 看護 専門 看護師	4 (4)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	2 (0)	10 (8)
		計	11 (11)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	2 (0)	21 (19)

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価																				
		自己評価理由、課題及びその改善策																							
イ	県内施設での若年看護職の職場定着を促し、看護実践能力の向上に向けた研修等を推進する。	<p>新卒者交流会及び卒後2年目交流会を毎年度開催し、新任期の戸惑い・困難さ・課題等について意見交流し、看護実践を積み重ねることの重要性の認識を高める等職場定着を支援した。また、看護実践能力の向上に向けた研修会として、看護実践研究指導事業、共同研究事業及び看護実践研究会学術集会を開催し、県内看護職者が多彩な研修に参加できる環境を創生した。</p>																							
ウ	<p>就職選択の基本である学生の主体的意思決定を支援すると共に、以下のとおり県内就業支援を促進する。</p> <p>県内医療機関による就職ガイダンスの開催等、学生が看護職や本学卒業者と直接ふれあう機会を県と協働で設け、県内医療機関で働くイメージを高める。</p>	<p>毎年度4月に、各学年における就職ガイダンスを開催し、学生自らが主体的に意思決定できる力を培った。県内看護職者の取り組みや卒業者の県内での活動実践の情報提供等を目的とし、「岐阜県医療施設等による就職ガイダンス」を毎年度開催し、県内医療機関から看護部長・卒業者の出席を得て全体説明会及び各施設単位の個別相談会を行った。当該説明会にて、本学卒業者が、各施設ブースでの相談・説明を担当するとともに、自施設の全体説明を担当した（令和3年度：8人7施設）。これにより、県内医療機関の看護活動実践の情報提供と県内医療機関に就業している卒業者との交流が可能な体制を構築した。</p> <p>* 岐阜県医療施設等による就職ガイダンス 説明及び相談担当卒業者数・施設数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体説明・ブース 相談担当卒業者 数</th> <th>施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>20人</td> <td>13施設</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>24人</td> <td>16施設</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21人</td> <td>14施設</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>19人（うち16人 は自施設の全体 説明担当）</td> <td>14施設</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12人</td> <td>11施設</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>8人</td> <td>7施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2、R3はオンライン開催</p>		年度	全体説明・ブース 相談担当卒業者 数	施設数	H28	20人	13施設	H29	24人	16施設	H30	21人	14施設	R1	19人（うち16人 は自施設の全体 説明担当）	14施設	R2	12人	11施設	R3	8人	7施設	
年度	全体説明・ブース 相談担当卒業者 数	施設数																							
H28	20人	13施設																							
H29	24人	16施設																							
H30	21人	14施設																							
R1	19人（うち16人 は自施設の全体 説明担当）	14施設																							
R2	12人	11施設																							
R3	8人	7施設																							
	<p>県及び諸機関と協働で特別講義等を企画・実施する体制を整え、学生が岐阜県の将来及び看護職の今後の可能性等について豊かなビジョンを描く機会とする。</p>	<p>専門職者としての幅広い教養と専門職としての今後の可能性に関する特別講義を毎年度企画し、講師を招聘した（下記のとおり）。岐阜県の文化と歴史あるいは現代の医療・保健・福祉と看</p>																							

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価																					
		自己評価理由、課題及びその改善策																								
	<p>学生と県内に就職した卒業者(看護師・保健師・助産師・養護教諭)との交流会を開催し、卒業者の活躍を知ることにより、県内就職の魅力を知る機会とする。</p> <p>一年次生の学外演習、三年次生の領域別実習及び四年次生の卒業研究を県内医療機関等において継続することにより、県内医療機関等への就職の動機付けを高める。</p>	<p>護等について学び、人間としての深い成長と看護職についての豊かなビジョンを描く機会とした。</p> <p>* 特別講義実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>羽島市の‘まちづくり’及び保健医療福祉について</td> <td>松井聡(羽島市長)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>趣味と人生： クラシック音楽とヨーロッパの古典絵画</td> <td>國枝敏郎(元岐阜県国際交流センター専務理事)</td> </tr> <tr> <td>岐阜県の救急医療体制について</td> <td>小倉真治(岐阜大学医学部附属病院院長)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>岐阜県の歴史と街並み</td> <td>富樫幸一(岐阜大学地域政策学科地域政策講座教授)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>創立20周年記念「健康長寿のための生活の知恵」</td> <td>津田謹輔(京都大学名誉教授、帝塚山学院大学学長)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>和傘と私</td> <td>河合幹子(和傘職人)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>弱い立場の方々に寄り添う行政を目指して</td> <td>都竹淳也(飛騨市長)</td> </tr> </tbody> </table> <p>在學生と卒業者の交流を一層推進するため、「卒業者と在學生との交流会」を毎年度開催し、県内就業の卒業生6～7人をシンポジストとして招聘し、二・三年次生参加のシンポジウム「職場の現状と働くことを通して捉えた看護」を行うとともに、シンポジウム後は職種別交流会を実施した。</p> <p>また、令和元年度は創立20周年の記念事業の一つとして実施し、卒業者と大学院修了者をシンポジストとして招聘し、「卒業生・修了者の活動報告から本学の歩みを振り返る」をテーマに開催した。</p> <p>臨地実習は、県内保健・医療・福祉機関で行うことにより、学生が現場看護職者の実践活動を見るときにも実際に体験することを通して、看護実践における基本的な考え方・姿勢を学び、看護に関わる理論的知識・技術を実際の実践活動と繋げ、さらに看</p>	年度	テーマ	講師	H28	羽島市の‘まちづくり’及び保健医療福祉について	松井聡(羽島市長)	H29	趣味と人生： クラシック音楽とヨーロッパの古典絵画	國枝敏郎(元岐阜県国際交流センター専務理事)	岐阜県の救急医療体制について	小倉真治(岐阜大学医学部附属病院院長)	H30	岐阜県の歴史と街並み	富樫幸一(岐阜大学地域政策学科地域政策講座教授)	R1	創立20周年記念「健康長寿のための生活の知恵」	津田謹輔(京都大学名誉教授、帝塚山学院大学学長)	R2	和傘と私	河合幹子(和傘職人)	R3	弱い立場の方々に寄り添う行政を目指して	都竹淳也(飛騨市長)	
年度	テーマ	講師																								
H28	羽島市の‘まちづくり’及び保健医療福祉について	松井聡(羽島市長)																								
H29	趣味と人生： クラシック音楽とヨーロッパの古典絵画	國枝敏郎(元岐阜県国際交流センター専務理事)																								
	岐阜県の救急医療体制について	小倉真治(岐阜大学医学部附属病院院長)																								
H30	岐阜県の歴史と街並み	富樫幸一(岐阜大学地域政策学科地域政策講座教授)																								
R1	創立20周年記念「健康長寿のための生活の知恵」	津田謹輔(京都大学名誉教授、帝塚山学院大学学長)																								
R2	和傘と私	河合幹子(和傘職人)																								
R3	弱い立場の方々に寄り添う行政を目指して	都竹淳也(飛騨市長)																								

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価																											
		自己評価理由、課題及びその改善策																												
		<p>護職者としての将来の自己イメージを描くことができるようにしている。令和3年度は、一年次は学外演習（県内34施設38部署）、三年次は領域実習（県内106施設142部署）、四年次では卒業研究（県内40施設105部署）において臨地実習を行った。</p>																												
⑪	<p>ア 県との連携を図り、県が実施する看護政策の展開について大学固有の方法で協力を行う。</p>	<p>県との連携を図り、県が実施する保健・医療・福祉政策等の効果的な展開について、大学固有の方法で協力を行うとともに、保健師、看護師、助産師及び養護教諭等の研修について、企画・運営・実施・評価に関する支援を行った。具体的には、下記3つの表に示すとおり、岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会や岐阜県福祉サービス第三者評価推進審議会等の各種委員に就任するとともに、医療的ケア専門研修や保健師現任研修等の各種研修について企画・運営等の支援、及び各研修会の講師派遣を行った。</p> <p>* 各種委員会委員状況（岐阜県）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員会委員名</th> <th>委員担当年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県公衆衛生研修会評議員</td> <td>H28、H29、H30、R1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県准看護師試験委員</td> <td>H28、H29、H30、R1</td> </tr> <tr> <td>ヘルスプランぎふ21推進会議委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県福祉サービス第三者評価推進審議会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県障害児通所給付費等不服審査会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県障害者介護給付費等不服審査会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県医療審議会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県地域医療対策協議会委員</td> <td>R1、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県国民健康保険運営協議会委員</td> <td>H28、H29、H30、R1、R2、R3</td> </tr> <tr> <td>岐阜県介護保険施設等の事故防止強化に向けた検討会構成員</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>学校におけるがん教育推進協議会委員</td> <td>H30、R1、R2、R3</td> </tr> </tbody> </table>	委員会委員名	委員担当年度	岐阜県公衆衛生研修会評議員	H28、H29、H30、R1	岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県准看護師試験委員	H28、H29、H30、R1	ヘルスプランぎふ21推進会議委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県福祉サービス第三者評価推進審議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県障害児通所給付費等不服審査会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県障害者介護給付費等不服審査会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県医療審議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県地域医療対策協議会委員	R1、R3	岐阜県国民健康保険運営協議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3	岐阜県介護保険施設等の事故防止強化に向けた検討会構成員	H30	学校におけるがん教育推進協議会委員	H30、R1、R2、R3	IV	<p>県の医療・看護政策に多方面から協力していることは高く評価できる。</p>
委員会委員名	委員担当年度																													
岐阜県公衆衛生研修会評議員	H28、H29、H30、R1																													
岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県准看護師試験委員	H28、H29、H30、R1																													
ヘルスプランぎふ21推進会議委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県福祉サービス第三者評価推進審議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県障害児通所給付費等不服審査会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県障害者介護給付費等不服審査会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県医療審議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県地域医療対策協議会委員	R1、R3																													
岐阜県国民健康保険運営協議会委員	H28、H29、H30、R1、R2、R3																													
岐阜県介護保険施設等の事故防止強化に向けた検討会構成員	H30																													
学校におけるがん教育推進協議会委員	H30、R1、R2、R3																													

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証	
		業務実績、特筆すべき事項				
		自己評価理由、課題及びその改善策				
		清流の国ぎふ健康ポイント事業委託業務 プロポーザル評価会議構成員	R1、R2			
		日本看護学会学術集会抄録選考委員（岐 阜県看護協会）	H28、H29			
		岐阜看護学会論文選考委員（岐阜県看護 協会）	H28、H29			
		岐阜看護学会委員会委員（岐阜県看護協 会）	H28、H29、H30、 R1、R2、R3			
		岐阜県学術集会準備委員会委員（岐阜県 看護協会）	H28、H29			
		岐阜県看護協会定時総会代議員（岐阜県 看護協会）	R1			
		訪問看護人材育成研修体制構築支援事業 に向けた検討会の委員 （岐阜県看護協会）	H30			
		看護研究助成金審査委員（岐阜県看護協 会）	R3			
		認定看護管理者教育委員（岐阜県看護協 会）	R3			
		岐阜県ナースセンター事業運営委員会委 員（岐阜県看護協会）	R3			
		岐阜県市町村保健活動推進協議会保健師 部会	H30			
		医療的ケア運営協議会委員（岐阜県教育 委員会）	R1			
		産業保健相談員（岐阜産業保健総合支援 センター）	H28、H29、H30、 R1、R2、R3			
		全国健康保険協会岐阜支部評議会評議員 （全国健康保険協会岐阜支部）	H30、R1、R2、 R3			
		* 各種研修会企画・実施状況（岐阜県）				
		研修名等	対象者等	年度		
		医療的ケア専門 研修	特別支援学校の教員	H28、H29、 H30、R1、R2、 R3		
		保健室経営の充 実	教員免許更新対象者	H28		
		子どもの心と体 の理解と対応		H29、H30、 R1、R2、R3		

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項				
		自己評価理由、課題及びその改善策				
		障がい児のからだ と医療的ケア の理解		H28、H29、 H30、R1、R2、 R3		
		高齢者権利擁護 推進に係る看護 実務者研修	高齢者福祉施設看護職 員	H28、H29、 H30、R1、R3		
		保 健 師 現 任 研 修	新任者研 修	新規採用の保健師 <県・市町村保健師>	H28、H29、 H30、R1、 R3	
			ステップ アップ研 修	採用後5年目の保健師 <県・市町村保健師>	H28、H29、 H30、R1、 R2、R3	
			中堅後期 保健師研 修	実務経験年数 11～20 年程度の保健師 <県・市町村保健師>	H30	
			保健師指 導者研修	採用後5年目保健師の 指導保健師 及び上席保健師 <県・市町村保健師>	H29、H30	
			保健師管 理者研修	管理的立場の保健師 <県・市町村保健師>	H28、H29、 H30	
			* 各種研修会等の講師派遣状況（岐阜県）			
		研修名等	研修担当機関等			
		医療的ケア専門研修	岐阜県教育委員会教育研修課			
		高齢者権利擁護推進に係る看護実務者研修	岐阜県福祉総合相談センター			
		新任保健師研修	岐阜県保健医療課			
		保健師ステップアップ研修	岐阜県保健医療課			
		保健師指導者研修	岐阜県保健医療課			
		保健師管理者研修	岐阜県保健医療課			
		子育て支援手帳活用支援 研修会	岐阜県子育て支援課			
		恵那保健所母子保健担当 者研修会	岐阜県健康増進課			
		不登校対応講座	岐阜県教育委員会教育研修課			
		小中学校学校保健講習会	岐阜県教育委員会			

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		自己 評価	評価委員会の検証															
		業務実績、特筆すべき事項																		
		自己評価理由、課題及びその改善策																		
		<table border="1"> <tr> <td>総合教育センター講座</td> <td>岐阜県教育委員会教員研修課</td> </tr> <tr> <td>岐阜県訪問看護師養成講習会</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> <tr> <td>看護職員再就職支援研修</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者教育課程 (ファーストレベル)</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者教育課程 (セカンドレベル)</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> <tr> <td>岐阜県保健師助産師看護師 実習指導者講習会</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> <tr> <td>岐阜県専任教員養成講習 会</td> <td>岐阜県看護協会</td> </tr> </table>	総合教育センター講座	岐阜県教育委員会教員研修課	岐阜県訪問看護師養成講習会	岐阜県看護協会	看護職員再就職支援研修	岐阜県看護協会	認定看護管理者教育課程 (ファーストレベル)	岐阜県看護協会	認定看護管理者教育課程 (セカンドレベル)	岐阜県看護協会	岐阜県保健師助産師看護師 実習指導者講習会	岐阜県看護協会	岐阜県専任教員養成講習 会	岐阜県看護協会				
総合教育センター講座	岐阜県教育委員会教員研修課																			
岐阜県訪問看護師養成講習会	岐阜県看護協会																			
看護職員再就職支援研修	岐阜県看護協会																			
認定看護管理者教育課程 (ファーストレベル)	岐阜県看護協会																			
認定看護管理者教育課程 (セカンドレベル)	岐阜県看護協会																			
岐阜県保健師助産師看護師 実習指導者講習会	岐阜県看護協会																			
岐阜県専任教員養成講習 会	岐阜県看護協会																			
		<p>* 各種研修会の講師等派遣状況（岐阜県市町村）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修名等</th> <th>研修担当機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県小中学校教育研究会 養老町保健教育部会・ 養護教諭部会合同研究会</td> <td>養老町（養老郡支部長）</td> </tr> <tr> <td>岐阜県小中学校教育研究会 大垣支部・養護教諭部 会研究会</td> <td>大垣市</td> </tr> <tr> <td>中濃地区高等学校・特別 支援学校保健担当者研修 会</td> <td>美濃加茂市</td> </tr> <tr> <td>保健活動実践報告会開催 に伴う事例選考助言者</td> <td>海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）</td> </tr> <tr> <td>保健活動実践報告会</td> <td>海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）</td> </tr> <tr> <td>岐阜県養護教諭研究大会 助言者</td> <td>岐阜県小中学校教育研究会養 護教諭研究部会</td> </tr> <tr> <td>アサーショントレーニング 研修会</td> <td>岐阜市民病院</td> </tr> </tbody> </table>	研修名等	研修担当機関等	岐阜県小中学校教育研究会 養老町保健教育部会・ 養護教諭部会合同研究会	養老町（養老郡支部長）	岐阜県小中学校教育研究会 大垣支部・養護教諭部 会研究会	大垣市	中濃地区高等学校・特別 支援学校保健担当者研修 会	美濃加茂市	保健活動実践報告会開催 に伴う事例選考助言者	海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）	保健活動実践報告会	海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）	岐阜県養護教諭研究大会 助言者	岐阜県小中学校教育研究会養 護教諭研究部会	アサーショントレーニング 研修会	岐阜市民病院		
研修名等	研修担当機関等																			
岐阜県小中学校教育研究会 養老町保健教育部会・ 養護教諭部会合同研究会	養老町（養老郡支部長）																			
岐阜県小中学校教育研究会 大垣支部・養護教諭部 会研究会	大垣市																			
中濃地区高等学校・特別 支援学校保健担当者研修 会	美濃加茂市																			
保健活動実践報告会開催 に伴う事例選考助言者	海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）																			
保健活動実践報告会	海津市（岐阜県市町村保健活動 推進協議会保健師部会長）																			
岐阜県養護教諭研究大会 助言者	岐阜県小中学校教育研究会養 護教諭研究部会																			
アサーショントレーニング 研修会	岐阜市民病院																			
	<p>イ 大学の有する知的資源や人材を活用し、看護実践の改善に係る課題解決に向けた取組みを推進するなど、岐阜県の看護に関するシンクタンクの役割を果たし、岐阜県の看護の魅力の一層の向上に貢献する。</p>	<p>看護実践研究指導事業のうち「利用者ニーズを基盤とした入院支援の質向上に向けた看護職者への教育支援」は、入院支援を視野に入れて、県医療福祉連携推進課と連携して行った。入院支援における看護職者への教育支援のニーズは高く、平成28年度から令和3年度において、県内医療機関からベシック研修に289名（累積総数633名）、フォローアップ研修に199名（累積総</p>																		

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		業務実績、特筆すべき事項	自己 評価																		
		自己評価理由、課題及びその改善策																			
		<p>数294名) 及びアドバンス研修に77名(累積総数77名、平成28年度から開始)、エキスパートミーティングに18名(累積総数18名、令和2年度から開始)の参加があり、修了証は各研修参加者全員に付与した(6年間の研修全体で583名の参加があり、累積総数1,022名に達した)。当該取組みについては、本学紀要特別号「岐阜県立看護大学における教育研究活動及び地域貢献活動のオリジナリティ:「岐阜モデル」の構築とその発展的継続による質の重厚性」における「Ⅲ. 地域貢献活動におけるオリジナリティ」の中の「利用者ニーズを基盤とした退院支援の質向上に向けた看護職者への教育支援」として平成16年(2004年)からの16年間の内容を取りまとめ、活動が発展的に継承される基盤を強化した。</p> <p>また、岐阜県の各種研修会において講師を派遣するとともに、岐阜県看護協会・県内外の市町村における各種協議会等の委員及び講師の派遣を行った。</p>																			
⑬	<p>ア 本学の理念と目標に沿った教員育成をするために、計画的にファカルティ・ディベロップメント等を実施する。</p>	<p>本学の理念と目標に沿った教員育成をするため、FD活動等を毎年度企画・実施した。</p> <p>年度当初に教員の要望の確認から開始することで、教員個々が主体的にFD活動を創る体制を構築するとともに、FD委員会と他委員会等が柔軟に協働して研修会等の開催を企画する仕組みとして実施した(FD研修会開催状況のとおり)。</p> <p>また、現場看護職者と協働した教育体制強化のため、実習施設の看護職者を含めたFDとして、領域実習及び卒業研究の実習等終了後に、学生の学びに関する現状と課題に関する資料を作成し、当該資料を素材として教員と各施設看護責任者・実習指導看護職者で実習における学生の学びについて意見交換を行う体制を整え実施した(毎年度延べ136~148施設と意見交換会を実施)。</p> <p>* FD研修会開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">FD研修会テーマ</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">H28</td> <td>1</td> <td>平成27年度 学外交流報告会</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>外部研究資金応募に向けた研修会(参加者数限定)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>共同研究事業の今後の発展とあり方を考える研修会(看護研究センターとの共同企画)</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>学位授与方針(ディプロマポリ</td> <td>96%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	FD研修会テーマ		参加率	H28	1	平成27年度 学外交流報告会	85%	2	外部研究資金応募に向けた研修会(参加者数限定)	100%	3	共同研究事業の今後の発展とあり方を考える研修会(看護研究センターとの共同企画)	92%	4	学位授与方針(ディプロマポリ	96%	IV	<p>職員の能力向上のために、FD・SD等に積極的に取り組んでいることは高く評価できる。</p> <p>今後は、FDの開催がいかに学生教育に寄与されたのかを示されたい。</p>
年度	FD研修会テーマ		参加率																		
H28	1	平成27年度 学外交流報告会	85%																		
	2	外部研究資金応募に向けた研修会(参加者数限定)	100%																		
	3	共同研究事業の今後の発展とあり方を考える研修会(看護研究センターとの共同企画)	92%																		
	4	学位授与方針(ディプロマポリ	96%																		

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価			自己 評価	評価委員会の検証
		業務実績、特筆すべき事項				
		自己評価理由、課題及びその改善策				
			シー)と授業科目との関連を考 える研修会(教務委員会との共 同企画)			
		H29	1 学位授与方針(ディプロマポリ シー)と教育活動との関連を考 える研修会~学生の特性を考 慮した教育の工夫~(教務委員 会との共同企画)	92%		
			2 外部研究資金応募に向けた研 修会(参加者数限定)	100%		
			3 看護実践研究指導事業のこれ からを考える研修会(看護研究 センターとの共同企画)	92%		
			4 学外交流報告:“地域貢献活 動”をテーマとした長野県看 護大学との交流	90%		
		H30	1 成績評価のあり方を考える研 修会(教務委員会との共同企 画)	98%		
			2 外部研究資金応募に向けた研 修会(参加者数限定)	100%		
			3 大学の内部質保証に関する研 修会(総務企画課との共同企 画)	FD:97% SD:100%		
			4 看護実践研究指導事業のこれ からを考える研修会 その2 (看護研究センターとの共同 企画)	93%		
			5 学生生活支援の方法の検討と 共有に向けた研修会(学生生活 委員会、総務企画課との共同企 画)	FD:97% SD:100%		
		R1	1 外部研究資金応募に向けた研 修会(参加者数限定)	100%		
			2 共同研究事業の課題解決に向 けた具体的方策を考える研修 会(看護研究センター・研究交 流促進部会との共同企画)	90%		

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価				自己 評価	評価委員会の検証	
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価			
		自己評価理由、課題及びその改善策						
			3	学士課程教育の充実に向けた 研修会－DPを担保する段階 的到達目標の明確化－(教務委 員会との共同企画)	94%			
			4	FD学外交流報告会	中止			
			5	学生の主体的な学びを支援す る学習環境に関する研修会(図 書館運営委員会・総務企画課と の共同企画)	中止			
		R2	1	令和元年度学外交流報告会 外部研究資金応募に向けた研 修会	91% 84%			
			2	遠隔教育に関する研修会	72%			
			3	20年後の社会を見据えた学士 課程における看護人材育成の ための教育のあり方を考える 研修会(教務委員会との共同企 画)	91%			
		R3	1	外部研究資金応募に向けた研 修会(参加者数限定)	100%			
			2	20年度の社会を見据えた学士 課程における看護人材育成の ための教育のあり方を考える 研修会 Part2(教務委員会との 共同企画)	91%			
			3	本学の特徴や魅力を探そう研 修会(広報委員会との共同企 画)	FD:91% SD:100%			
			4	看護実践現場の変化をふまえ た実践現場との協働活動の展 開(看護研究センターとの共同 企画)	96%			
		<p>※ 表中「SD(スタッフ・ディベロップメント)」:事務職員の 資質向上のために実施される研修</p> <p>イ 看護系大学の将来を見通した教員育成をする ために、国内諸大学との学術交流を含むファカル ティ・ディベロップメント等を実施する。</p> <p>看護系大学の将来を見通した教員育成のための国内諸大学と の学術交流は、隔年で企画し実施した。平成 28年度は、平 成27年度に実施した「沖縄県立看護大学との学術交流」につい</p>						

項目 番号	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																			
		業務実績、特筆すべき事項			自己 評価																		
		自己評価理由、課題及びその改善策																					
		<p>て学部教育及び大学院教育の特徴等に関する交流内容の報告会を開催し、教員全体で共有した。平成29年度は、「地域貢献活動」に関する学術交流を長野県看護大学と行い、「“地域貢献活動”をテーマとした長野県看護大学との交流」に関する報告会を開催した。また、平成30年度は次年度の国内大学との学術交流の企画を行い、本学と同様に、看護学部看護学科、大学院看護学研究科博士前期課程及び博士後期課程を有する公立大学の中から看護実践を基盤として教育研究活動を行っており、かつ大学固有の学会を組織化している大学に関する情報収集を行い、訪問する大学について検討した。令和元年度に「公立大学における地域貢献活動及び大学が参画する学会運営・活動」をテーマに名古屋市立大学看護学部との学外交流を行い、令和2年度に交流内容の報告会を開催した。</p> <p>* 学術交流・FDテーマ及び学術交流大学</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>学術交流テーマ&FDテーマ</th> <th>学術交流 大学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>FD:「沖縄県立看護大学との学術交流」報告会</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>学術交流:“県立大学”が行う地域貢献</td> <td>長野県看護大学</td> </tr> <tr> <td>FD:“地域貢献活動”をテーマとした長野県看護大学との交流</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>学術交流:公立大学における地域貢献活動&大学が参画する学会運営・活動</td> <td>名古屋市立大学看護学部</td> </tr> <tr> <td>FD:「看護実践研究センターの活動及びなごや看護学会について」(令和2年3月予定、感染症対策のため中止)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>FD:令和元年度学外交流報告会</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		年 度	学術交流テーマ&FDテーマ	学術交流 大学	H28	FD:「沖縄県立看護大学との学術交流」報告会	—	H29	学術交流:“県立大学”が行う地域貢献	長野県看護大学	FD:“地域貢献活動”をテーマとした長野県看護大学との交流	—	R1	学術交流:公立大学における地域貢献活動&大学が参画する学会運営・活動	名古屋市立大学看護学部	FD:「看護実践研究センターの活動及びなごや看護学会について」(令和2年3月予定、感染症対策のため中止)	—	R2	FD:令和元年度学外交流報告会	—	
年 度	学術交流テーマ&FDテーマ	学術交流 大学																					
H28	FD:「沖縄県立看護大学との学術交流」報告会	—																					
H29	学術交流:“県立大学”が行う地域貢献	長野県看護大学																					
	FD:“地域貢献活動”をテーマとした長野県看護大学との交流	—																					
R1	学術交流:公立大学における地域貢献活動&大学が参画する学会運営・活動	名古屋市立大学看護学部																					
	FD:「看護実践研究センターの活動及びなごや看護学会について」(令和2年3月予定、感染症対策のため中止)	—																					
R2	FD:令和元年度学外交流報告会	—																					